

みんなで

事故を未然に！防ぐために

ヒヤリ・ハット 事例集



社団法人 全国産業廃棄物連合会
北海道・東北地域協議会

ヒヤリ・ハット
事例

各作業別



運搬・収集	2
中間処理	12
処理作業	16
積込・荷下ろし	20
その他(場内作業時)	24

【運搬・収集】【運搬中】ヒヤリ・ハット No.1

走行中、荷崩れに気づかず
積載物が落下した

体験内容

廃棄物の運搬中、積み荷の落下物により、対向車や後続車にあたるなどの交通事故を起こしてしまった。

危険要因

- ・荷物の積み方が不安定だった。
- ・段差でロープが緩んだ。
- ・積み荷にシート等を掛ける作業を怠った。



対応策

- ・安定した積み方を徹底し、ロープやシートをしっかり掛けるなど、荷崩れ防止に努める。
- ・運搬中は常に積み荷の状態を確認する。



【運搬・収集】【運搬中】ヒヤリ・ハット No.2

走行中、歩行者や他車両と
ぶつかりそうになった

体験内容

廃棄物を乗せたパレットを運搬中、回収業者の車や歩行者と接触しそうになった。

危険要因

- ・見通しが悪いのに減速せず、前方確認を怠った。
- ・運搬通路を歩行者が歩いていた。

対応策

- ・必ず前後左右を確認して走行し、視界が悪い時は減速する。
- ・歩行者は専用通路を歩くよう徹底指導するなど、安全教育をする。

【運搬・収集】【運搬中】ヒヤリ・ハット No.3

フレコンに入れた廃棄物の
荷が落ちそうになった

体験内容

フレコンに入れた廃棄物を2枚重ねて走行中、橋の上で荷が落ちそうになった。

危険要因

- ・橋の上で車両が段差で跳ねたとき、ロープが緩んだ。

対応策

- ・ロープの掛け具合をしっかり確認する。
- ・シートにて養生する。

【運搬・収集】【運搬中】ヒヤリ・ハット No.4

ドラム缶の移動時に手や足を滑らせ倒しそうになった



体験内容

ドラム缶を積み込んでいたら、滑って落とし、倒れそうになった。

危険要因

- ・ドラムが濡れていたため、手が滑った。
- ・現場の足元が鉄板で、滑りやすかった。



対応策

- ・水気を十分に拭き取ってから作業を始める。
- ・滑りにくい靴底の靴を履く。滑らないようコンパネをひく。



【運搬・収集】【運搬中】ヒヤリ・ハット No.5

走行中、吸引ホースが外れてしまった

体験内容

走行中に外れたホースが歩行者、他の車両との接触事故を起こした。

危険要因

- ・ホースを固定する際、トラロープで結束した。

対応策

- ・ゴムバンドや針金など、滑りにくいもので結束する。

【運搬・収集】【運搬中】ヒヤリ・ハット No.6

坂道発進時に、汚泥を公道にこぼしてしまった

体験内容

危うく後方に汚泥をかけ、交通事故になるところだった。

危険要因

- ・ダンプの補助フック（地獄止め）をせず、坂道では過重が後方にかかってしまった。

対応策

- ・必ず補助フックをして、運転の仕方に注意する。

【運搬・収集】【フォークリフト】ヒヤリ・ハット No.7

荷下ろし中にドラムを
転倒させてしまった

体験内容

フォークリフトで荷下ろし中にドラムを転倒させ、他の作業員がケガしそうになった。

危険要因

・フォークリフトの作業員も他の作業員も、作業中の安全確認をしなかった。

対応策

・作業員は必ず周囲の安全を確認して作業をする。
・保護具（ヘルメット、安全靴）を必ず着用する。



【運搬・収集】【フォークリフト】ヒヤリ・ハット No.8

廃パレットの積み卸して
荷崩れしてしまった

体験内容

廃パレットをフォークリフトで積み卸している時に荷崩れした。

危険要因

・作業前に、廃パレットの形状を確認しなかった。

対応策

・廃パレットごとに結束する。
・事前に積み荷の形状の確認をする。

【運搬・収集】【フォークリフト】ヒヤリ・ハット No.9

天井の蛍光灯にぶつけて
破損しそうになった

体験内容

倉庫内でフォークリフトの作業中に天井の蛍光灯にあて、破損しそうになった。

危険要因

・安全確認を怠った。早めの誘導をしなかった。

対応策

・周囲の安全確認をする。
・フォークリフト作業員同士で、声の掛け合いをする。

【収集(ホース・パイプ等使用時)】 【収集】ヒヤリ・ハット No.10

吸引中、操作を誤り
手袋を吸い取られた

体験内容

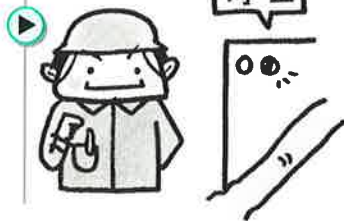
ホースで吸引中に詰まったので、手で詰まりをとろうとして、手袋を吸い取られた。

危険要因

・吸引を止めないで詰まりを直そうとした。

対応策

・作業中は必ず機械を止める。
・カッター等を用意しておき、不慮の事故に備える。



【収集(ホース・パイプ等使用時)】 【収集】ヒヤリ・ハット No.11

使用中のホースが外れて
現場に落下した

体験内容

廃棄物の回収時に、使用していたホースが外れて現場に落下してしまった。

危険要因

・ホースを固定したが、作業中に緩んでしまった。

対応策

・作業中にも、ホースが固定されているかを確認する。

【収集(ホース・パイプ等使用時)】 【収集】ヒヤリ・ハット No.12

吸引中、タンク内で
転倒しかけた

体験内容

タンク内で汚泥吸引時に、転倒しかけた。

危険要因

・タンク内は丸みがあり、滑りやすくなっている。

対応策

・麻袋や大きめのウェス、幅広いベニヤ板などを使用する。

【収集(ホース・パイプ等使用時)】【収集】ヒヤリ・ハット No.13

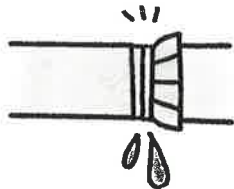
パイプから
廃液がこぼれた

体験内容

廃液をパイプから抜き取る時、パイプから廃液がこぼれた。

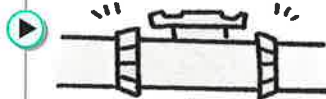
危険要因

・取り付けの際の、パイプの接続が悪かった。



対応策

・きちんと取り付けられているかどうかを、バルブを開ける前に確認する。



耳すり付けよし!

【収集(ホース・パイプ等使用時)】【収集】ヒヤリ・ハット No.14

発泡性液体に消泡剤を
入れ忘れそうになった

体験内容

発泡性の液体を吸引するとき、消泡剤を入れ忘れそうになった。

危険要因

・積載を焦った。
・吸引物の性質の確認が不十分だった。

対応策

・吸引する廃棄物の性質を事前に確認する。
・回収にあたり注意事項を確認できる場所に掲示する。

【収集(回収作業)】【回収作業】ヒヤリ・ハット No.15

可燃物に混じていた
不燃物で手を切った

体験内容

可燃物を回収しているとき、中に不燃物が混じており手を切った。

危険要因

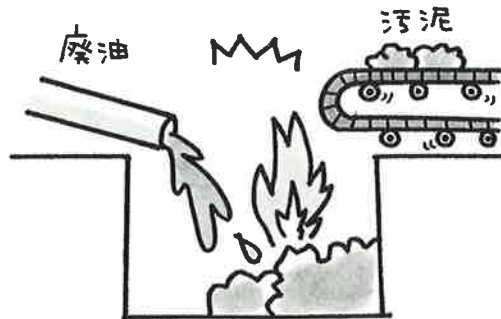
・可燃物に不燃物が混じていることを予測・確認しなかった。

対応策

・安全を確認する。
・手袋など安全具を着用する。

【中間処理】【前処理作業】ヒヤリ・ハット No.16

廃油が汚泥と混合、 あやうく火災に……



体験内容

廃油が汚泥と混合し、化学反応して火災が発生しそうになった。

危険要因

入荷先によって廃油が異なり、このケースでは引火性の廃油が混合されていた。



対応策

・事前に混合テストを実施する。



【中間処理】【前処理作業】ヒヤリ・ハット No.17

試薬の仕分け時に、 瓶を倒しそうになった

体験内容

試薬倉庫で仕分け作業中、移動時に足下の試薬瓶を倒しそうになった。

危険要因

・狭い場所での多種の試薬内訳だったため、足下への注意が疎かになった。

対応策

- ・作業前に試薬の場所、分別する箱、分別した箱を置く場所を決めておく。
- ・一度に多種多量の試薬作業をしない。
- ・十分なスペースがある場所で作業する。

【中間処理】【前処理作業】ヒヤリ・ハット No.18

破砕機で、酸とアルカリの 空容器を処理したら発火

体験内容

前処理ハンマー破砕機で酸とアルカリの空容器を処理したら発火した。

危険要因

・空容器といっても、残液があった。

対応策

- ・容器の脱液を完全に行う。
- ・酸とアルカリの容器は一緒に破砕しない。

【中間処理】【中間処理中】ヒヤリ・ハット No.19

圧力抜き作業で、廃油が
はみ出して顔にかかった

体験内容

廃油ライン内の圧力抜き作業時、バルブをゆっくり開けたつもりが、はみ出して顔にかかった。

危険要因

・配管内の圧力が通常よりも高かったのに気が付かず、いつもと同じ操作をした。



対応策

・事前に圧力の確認をする。
・廃油を受ける容器にオイルマットをかぶせ飛散しないようにする。
・保護具を着用する。保護具には前面シールドもする。



【中間処理】【処理炉関係】ヒヤリ・ハット No.20

処理炉点検中に
試薬が爆発した

体験内容

処理炉を点検中に炉内で自動直投している試薬が爆発した。

危険要因

・自動直投設備で試薬を処理しているが、中に禁水物、爆発性のものが紛れ込んだ。

対応策

・試薬選別工程で試薬を選別しているが、これを強化し、また難しいものは難物処理とする。

【中間処理】【処理炉関係】ヒヤリ・ハット No.21

廃酸ラインの配管に穴が開き、
炉前にこぼれた

体験内容

処理炉に廃酸を吹き込んで処理している時、廃酸ラインの配管に穴が開いて炉前にこぼれた。

危険要因

・廃酸ラインで配管内ランニングはしているが、色々な廃酸が入ることで高温となり、ランニング不良となった。

対応策

・その都度ラインを取り替える。
・強酸に強いランニングを選定する。

【処理事業】【解体作業中】ヒヤリ・ハット No.22

天井を踏み抜き、
天井のボードが落下



体験内容

天井裏で作業していた職人が天井を踏み抜き、天井のボードが落下した。

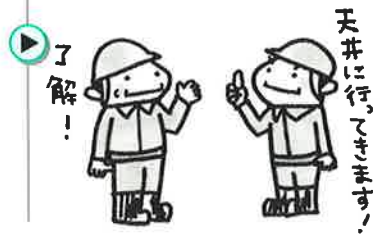
危険要因

・職人が誰にも声を掛けずに天井裏に行った。



対応策

・作業前の声掛けの徹底をする。



【処理事業】【解体作業中】ヒヤリ・ハット No.23

屋根の上で足を滑らせ、
落ちそうになった

体験内容

屋根に登り作業をしていた時、足を滑らせて落ちそうになった。

危険要因

・安全帯の紐の調節が、適切な長さではなかった。

対応策

- ・現場に合った紐の長さに調節する。
- ・足下が滑らない工夫をする。

【処理事業】【解体作業中】ヒヤリ・ハット No.24

ハンマーが空振りして、
手を叩きそうになった

体験内容

廃水ポンプの分解作業時、カップリングを外そうとハンマーで叩こうとしたが、空振りして手を叩きそうになった。

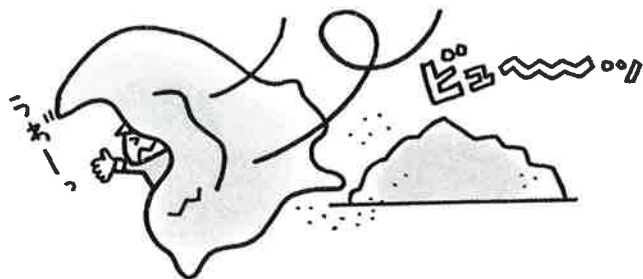
危険要因

・柄を長く持ちすぎて、ハンマーを正確に叩けなかった。

対応策

- ・ハンマーの重さと持つ位置をよく考えて振り下ろす。
- ・カップリングを一度に外そうとせず、何度か軽く叩きながら緩めていく。

【処理作業】【埋立作業中】ヒヤリ・ハット No.25

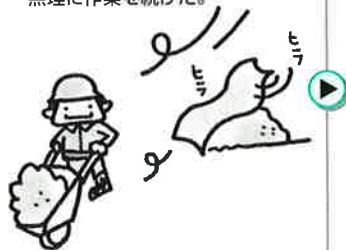
強風でシートに
巻き込まれた

体験内容

石炭灰用の飛散シート敷時に強風に煽られ、従業員がシートに巻き込まれた。

危険要因

・強風が吹いていたにも関わらず、無理に作業を続けた。



対応策

・強風時には飛散シートを使用する作業は行わない。
・作業員はヘルメット・防風マスク・メガネを着用する。



【処理作業】【焼却処理】ヒヤリ・ハット No.26

ストレーナーキャップを外そうと
したら、廃油が噴き出した

体験内容

廃油バーナーが詰まり、バーナープレイナー内管を洗浄する過程で、ストレーナーキャップを外そうとしたら廃油が噴き出した。

危険要因

・圧力計の残圧を確認しないでストレーナーキャップを外した。

対応策

・作業標準を作成・掲示し、教育を徹底する。
・安全ポイント書を作成・掲示し、安全作業を徹底する。

【処理作業】【焼却処理】ヒヤリ・ハット No.27

燃焼炉の点検時に、ホースを
踏んで足が滑った

体験内容

重油バーナー燃焼炉の点検時、その階段を降りたところにホースが放置してあり、踏んで足を滑らせた。

危険要因

・通路に不用物を放置していた。
・通路の安全確認の不徹底。

対応策

・不用物(使用済み物)は即時撤去する。
・安全パトロールを実施する。
・手すりを使って階段を昇降する。

【積込・荷下ろし】ヒヤリ・ハット No.28

誘導員の合図でバックしたら、
人にぶつかりそうになった



体験内容

荷下ろし時に後方の誘導員が合図を出したので、自分では確認せずそのままバックしたら、後ろに他の作業員がいて危うくぶつかるところだった。

危険要因

・誘導員の指示だけで、自分で確認しなかった。

対応策

・自分でも必ず後方を確認する。



【積込・荷下ろし】ヒヤリ・ハット No.29

仮設の電線を
切断しそうになった

体験内容

残材ボックスを回収するとき、仮設の電線を切断しそうになった。

危険要因

・周囲の確認を怠った。

対応策

・回収時は、周囲の状況を指差して確認すること。

【積込・荷下ろし】ヒヤリ・ハット No.30

パッカー車の回転板に、
手袋をとられそうになった

体験内容

ゴミをパッカー車に投入しているとき、ゴム手袋を回転板にとられそうになった。

危険要因

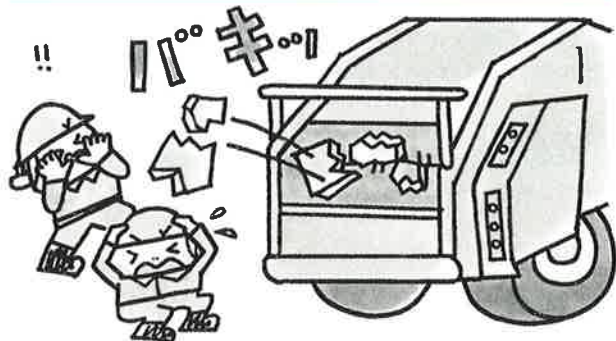
・自動回転にしていたため、焦っていた。

対応策

・回転板を自動回転にしないで、焦らず作業する。

【積込・荷下ろし】ヒヤリ・ハット No.31

収集車から角材の破片が飛んできた



体験内容

収集車の押し込み板と回転板の隙間から積み込んだ、角材の破片が飛んできた。

危険要因

・二人作業でゴミを無造作に投入した。



対応策

・ゴミの状況を確認しながら収集車に投入する。



【積込・荷下ろし】ヒヤリ・ハット No.32

荷台の扉が開かずにダンプアップ、横転しそうになった

体験内容

10tダンプの荷下ろし時、荷台の扉が開かないままダンプアップしたため、車両の前輪が浮き横転しそうになった。

危険要因

・ダンプの荷台扉のロックを解除するのを忘れた。

対応策

・ドライバーおよび周囲の作業者が声を出して、ロック解除を確認する。
・荷下ろし受付前にポスター等を貼り、注意を促す。

【積込・荷下ろし】ヒヤリ・ハット No.33

シートにゴムがかかっておらず、シートと一緒に転落した

体験内容

アームロールの脱着コンテナにシートを掛けるとき、片側のゴムがかかっておらずシートと一緒に転落した。

危険要因

・二人作業だったので「相手がゴムを掛けてくれるだろう」と勝手に思い込んだため。

対応策

・作業をするときは人任せでなく、自分でも必ず確認すること。
・シートを引っ張る作業は、必ず地面に下りてから行う。

【その他(場内作業時)】【場内での作業中】ヒヤリ・ハット No.34

角材の束が
足下に倒れた

体験内容

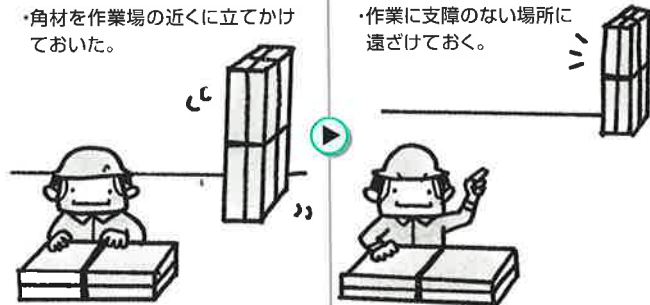
作業中に突然、角材の束が足下に倒れてきた。

危険要因

・角材を作業場の近くに立てかけておいた。

対応策

・作業に支障のない場所に遠ざけておく。



【その他(場内作業時)】【場内での作業中】ヒヤリ・ハット No.35

処理現場で、
足をくじきそうになった

体験内容

廃棄物の処理現場で、誤って足をくじきそうになった。

危険要因

・廃棄物の整理整頓が不十分だった。

対応策

・廃棄物現場の整理整頓。

【その他(場内作業時)】【場内での作業中】ヒヤリ・ハット No.36

製品微粉のシート掛けて
転んだ

体験内容

製品微粉にシートを掛けるときに転んだ。

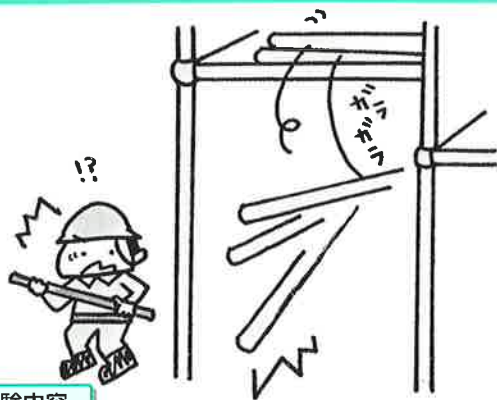
危険要因

・製品微粉が崩れた。

対応策

・製品微粉が崩れないようにしておく。

【その他(場内作業時)】【場内での作業中】ヒヤリ・ハット No.37

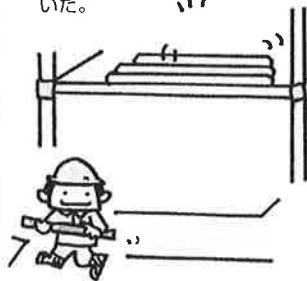
プラントの二階から
鉄パイプが落下した

体験内容

処理プラントから金属音が聞こえたので行ってみたら、プラントの二階から鉄パイプが落下していた。

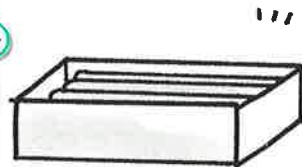
危険要因

・鉄パイプを使用した際、元の場所に戻さず不安定な場所に置いた。



対応策

・専用の容器を用意し、置き場を設ける。



【その他(場内作業時)】【場内での作業中】ヒヤリ・ハット No.38

パレット移動中、束の部分が
外れて荷崩れた

体験内容

空パレットを移動中、リフトの爪をさしていた束の部分が外れてバランスを失い、荷崩れた。

危険要因

・外国製で、パレットで束と板を結ぶ釘が短かった。

対応策

・移動時にはバック走行をする。
・作業前にパレットの破損状況を確認する。

【その他(場内作業時)】【場内での作業中】ヒヤリ・ハット No.39

側溝に足をとられ、
廃液まみれになった

体験内容

夜、廃液棟内に入り電灯のスイッチをつけようとしたとき、側溝のマスに足をとられて片足が廃液まみれになってしまった。

危険要因

・暗かったので手探りの状態で進み、足下のマスに気付かなかった。

対応策

・常時、マスには蓋をしておく。
・すぐに分かりやすい入口付近にスイッチを付け替える。

【その他(場内作業時)】[清掃中]ヒヤリ・ハット No.40

浄化槽をまたいで移動中、
バッキ室に足を突っ込んだ

体験内容

分離接触バッキの浄化槽の清掃中に浄化槽をまたいで移動したとき、バッキ室に足を突っ込んでしまった。

危険要因

・浄化槽のふたが開いたタンクの
上をまたいだ。

対応策

・ふたの開いたタンクの上はまた
がない。

【その他(場内作業時)】[清掃中]ヒヤリ・ハット No.41

廃タイヤが落下、斜面を伝って
ぶつかりそうになった

体験内容

不法投棄の斜面のある現場で、フレコンバックから廃タイヤが落下し、斜面を伝ってぶつかりそうになった。

危険要因

・廃タイヤがフレコンバックに完
全に収納されていなかった。
・斜面での作業なのに、斜面の延
長線上にいた。

対応策

・常に安全な場所の確認をする。

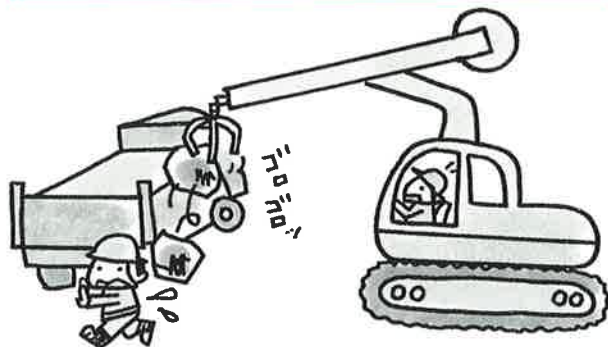
ヒヤリ・ハット
事例

各機械別



重機	30
クレーン	36
ベルトコンベア	40

【重機】【重機による作業】ヒヤリ・ハット No.42

焼却物が、積み込み時に
コンテナの外に落ちた

体験内容

重機で焼却物を積み込み時に、焼却物がコンテナの外に落ち、近くの作業員に当たりそうになった。

危険要因

・積み込みを行う際に、作業員の有無の確認を怠った。



対応策

- ・重機を使用する場合は、よく周辺を確認する。
- ・作業員も重機の近くでは作業しない。



【重機】【重機による作業】ヒヤリ・ハット No.43

作業員が旋回範囲に入り、
接触しそうになった

体験内容

重機で作業中、作業員が旋回範囲に入ってしまい、接触しそうになった。

危険要因

- ・作業員が不用意に重機に近づいた。
- ・重機の操作時に、安全確認を怠った。

対応策

- ・重機類は死角が多いため、十分に安全確認し、周囲の作業員とのコミュニケーションを十分にとる。

【重機】【重機による作業】ヒヤリ・ハット No.44

廃材に乗り上げ、
横転しそうになった

体験内容

幹、柱を重機で移動中に落下し、重機で乗り上げてしまい横転しそうになった。

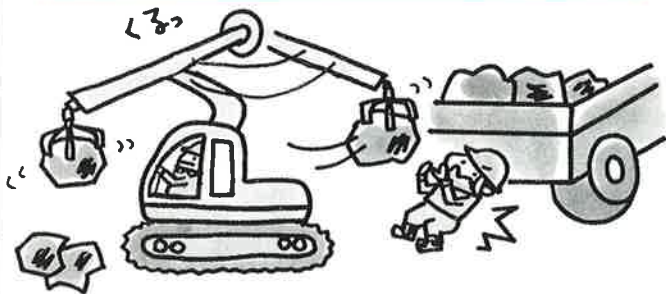
危険要因

- ・一度に運ぶ量が多すぎた。

対応策

- ・適量を運び、重機の走行にも十分気を配る。

【重機】【重機による作業】ヒヤリ・ハット No.45

廃材とトラックに
挟まれそうになった

体験内容

廃材を重機でトラックに積載中、廃材とトラックの荷台に挟まれそうになった。

危険要因

・重機の運転手が周囲の確認と作業員の合図の確認をしなかった。

対応策

・重機は死角が多く、様々な不測の事態に備えるために、十分な安全確認と周囲の作業員とのコミュニケーションをとる。



【重機】【重機による作業】ヒヤリ・ハット No.46

エンビ管の破片が飛び、
作業員に当たりかけた

体験内容

重機でエンビ管を潰しているときに、破片が飛んで近くの作業員に当たりかけた。

危険要因

・重機の運転手が周囲を確認していなかった。

対応策

・重機の運転者は事前に作業内容を告知しておき、周囲を確認する。

【重機】【重機による作業】ヒヤリ・ハット No.47

鉄筋がキャタピラーに
挟まってしまった

体験内容

コンクリートの小割中に鉄筋が重機のキャタピラーに挟まり、ホースを切りそうになった。

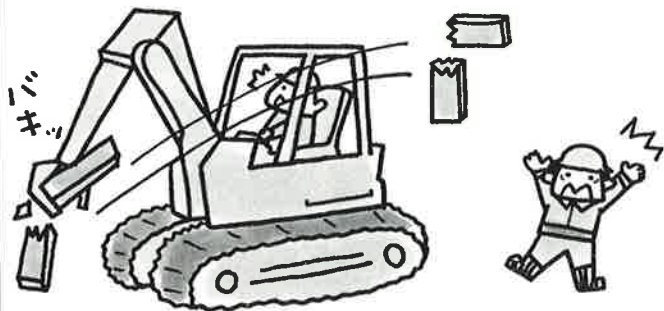
危険要因

・コンクリート下の鉄筋の存在に気が付かなかった。

対応策

・廃材の手前から少しずつ片付けるようにする。

【重機】【重機による作業】ヒヤリ・ハット No.48

木材処理中に
木片が飛散した

体験内容

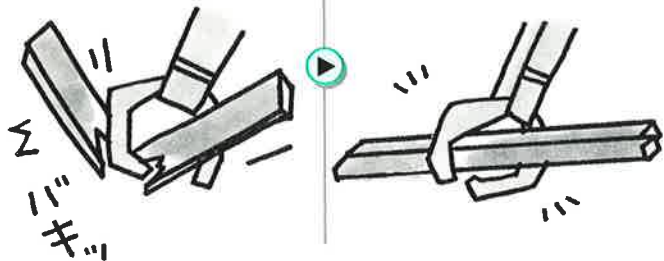
フォークグラブで木材を処理中に、木片が15mほど飛散した。

危険要因

・フォークグラブで斜めにつかんだため、途中で折れてしまった。

対応策

・掴み方など、きちんとマニュアルに従った操作の仕方をする。



【重機】【破碎作業】ヒヤリ・ハット No.49

破碎中に、破片が
重機にあたった

体験内容

コンクリート破碎中に、破片が重機のガラス部分にあたり飛散した。

危険要因

・コンクリートの強度が強い場合、破碎できないことがある。

対応策

・重機のガラス部分を強度の強いものに変える。

【重機】【破碎作業】ヒヤリ・ハット No.50

異物を取り除く際に、
散水ノズルにぶつかった

体験内容

クラッシャーホッパー内に混入した異物を取ろうとしたときに、散水ノズルにぶつかった。

危険要因

・ホッパー内の周囲の安全確認を怠った。
・異物混入の確認不足。

対応策

・周囲の安全確認をする。散水ノズルの撤去が望ましい。

【クレーン】ヒヤリ・ハット No.51

鉄クズの移動中に、 鉄クズが落下してきた



体験内容

鉄クズをクレーンで移動させる作業中に、鉄クズが落下してきた。

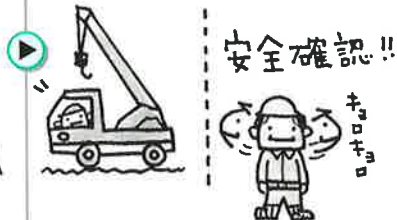
危険要因

・不要な振動を与えてしまった。



対応策

- ・手順に従った操作をする。
- ・クレーンがある場所に入る時は、必ず状況を確認する。



【クレーン】ヒヤリ・ハット No.52

コンテナ交換時に、クレーンが 横転しそうになった

体験内容

クレーン車でコンテナ交換作業をしていたら、クレーンが横転しそうになった。

危険要因

・路面が柔らかい場所で、アウトリガーの敷台を置いて足場を固めなかった。

対応策

・路面の状況に係わらず敷台を置き、足場を固めてから作業をする。

【クレーン】ヒヤリ・ハット No.53

吊り下げたフレコンバックの 袋の帯が切れて外れた

体験内容

フレコンバックを移動式クレーンで吊り上げている際に、袋の帯が切れて外れた。

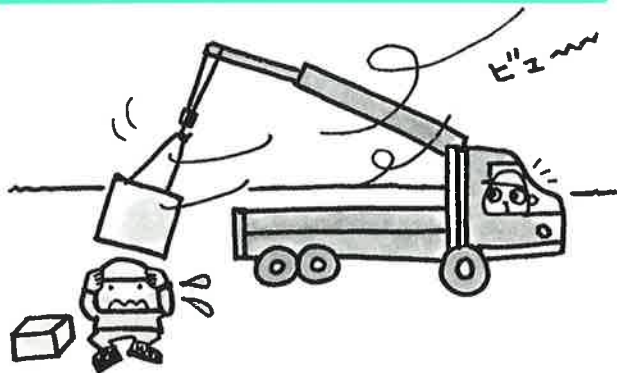
危険要因

・フレコンバックの帯が摩耗していた。

対応策

・早めの交換をするとともに、吊り荷の下には絶対に入らないようにする。

【クレーン】ヒヤリ・ハット No.54

ユニック車のワイヤーが
煽られた

体験内容

廃建材の積み込み中、強風によりユニック車のワイヤーが煽られ頭上をかすめた。

危険要因

・安全確認作業を怠った。

対応策

・安全確認と天候も含め、作業現場の環境を十分理解して作業する。



作業
石確認よし!

【クレーン】ヒヤリ・ハット No.55

フレコンバックが重すぎて、
破れてしまった

体験内容

フレコンバックをユニック車で吊り上げたが、中の廃棄物の重さに耐えられず破れた。

危険要因

・廃棄物重量と、フレコンバックの強度の認識不足。

対応策

・重量物を吊り上げる際は、容器を十分に選別する。

【クレーン】ヒヤリ・ハット No.56

掴んだスクラップの一部が
破損してしまった

体験内容

スクラップをクレーンでトラック荷台に積み上げているとき、掴んだスクラップの一部が破損し、飛散した。

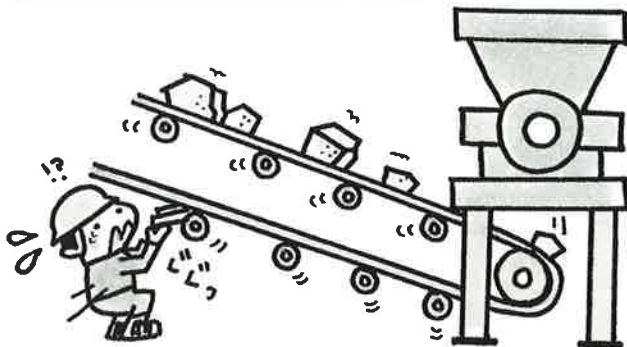
危険要因

・クレーンで積み上げるとき、掴む位置を確認しなかった。

対応策

・スクラップの形態、重心をよく確認する。
・作業周辺には人を近づけない。
・安全具を必ず着用する。

【ベルトコンベア】 ヒヤリ・ハット No.57

作業中、コンベアに
引き込まれそうになった

体験内容

ベルトコンベアを流れる瓦礫類からゴミを取り除く作業中に引き込まれそうになった。

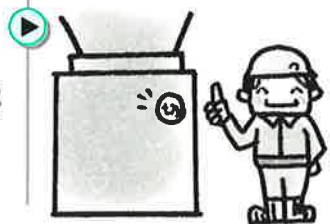
危険要因

- ・必要以上にゴミを取ろうと追いかけて過ぎた。
- ・同じ位置でじっと見ていたので感覚が麻痺していた。



対応策

- ・定期的に機械を止めて休息をとる。
- ・安全スイッチの設置・自動停止装置の設置。



【ベルトコンベア】 ヒヤリ・ハット No.58

コンベアの下をくぐったら、
物が落下してきた

体験内容

リターンベルトコンベアの下をくぐったとき、上から落下物があった。

危険要因

- ・リターン量が多かった。また、その時の回転スピードが速かった。

対応策

- ・定量投入と、ベルトコンベアのカバーの取り付け。
- ・ヘルメット常備着用。

【ベルトコンベア】 ヒヤリ・ハット No.59

グリス補給時に、脚立から
足を踏み外した

体験内容

脚立に上がり、停止中のベルトコンベアのベアリングにグリス補給をしていたとき、脚立から足を踏み外し、転倒しそうになった。

危険要因

- ・不安定な脚立の上で、グリスを手に持って補給していた。

対応策

- ・定期的な作業であれば、固定された足場を組む。
- ・脚立を利用する作業は、極力少なくする。
- ・脚立を利用するときは、役割分担をして2人で行う。

正しい服装・保護具を着用しよう

キチンとした服装は、仕事に対する心構えの表れです。

- 作業服装は、定められたものを正しく着用しましょう。
- 安全帽、安全靴を着用しましょう。
- 作業に応じて、安全帯、保護メガネ、保護マスクなどを準備しましょう。
また保護具は常に点検して正しく使いましょう。

作業に応じた保護具を身につけましょう。

安全帯、高所作業時は必ず使用する。
損傷の有無を点検

あごヒモをしめる



遮光面



防振てぶくろ



防じんマスク
防毒マスク



保護メガネ



安全くつ

みんなで心がけよう、4S

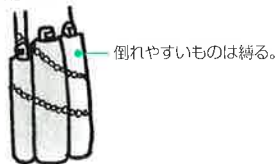
大切なのは「整理・整頓・清潔・清掃」

作業を安全に効率よく進めるためには、常に作業場をキチンとして、清潔にしておくことが必要です。

- 毎日、作業の終了前に作業場の片付け・清掃をしましょう。
その際、残材クズ等は決められた集積場所に置いてください。
- 自分の受け持つ場所は、各自が責任をもってきれいにしましょう。

物の置き方は種類別に平行、直角が原則です。

ころがるものには必ずころび止めを。



形をそろえる。

きめられた場所にキチンと置く。



コンクリートガラ、金属くず、紙くず、木くず等は種類ごとに分別しましょう。

職場全体で安全対策

安全な作業は、設備や機器を正しく使用するとともに、
一人ひとりの「ムダ・ムリ・ムラ」をなくして
正しい行動をすることにつながります。
安全対策は、能率や品質を高めることにも役立ちますので、
職場全体で安全対策に取り組むことが大切です。



どんな作業状況でも、常に安全を最優先させる風土を、
安全文化として職場に定着させていきましょう。

